

# 2021年3月期 第3四半期決算

2021年1月29日



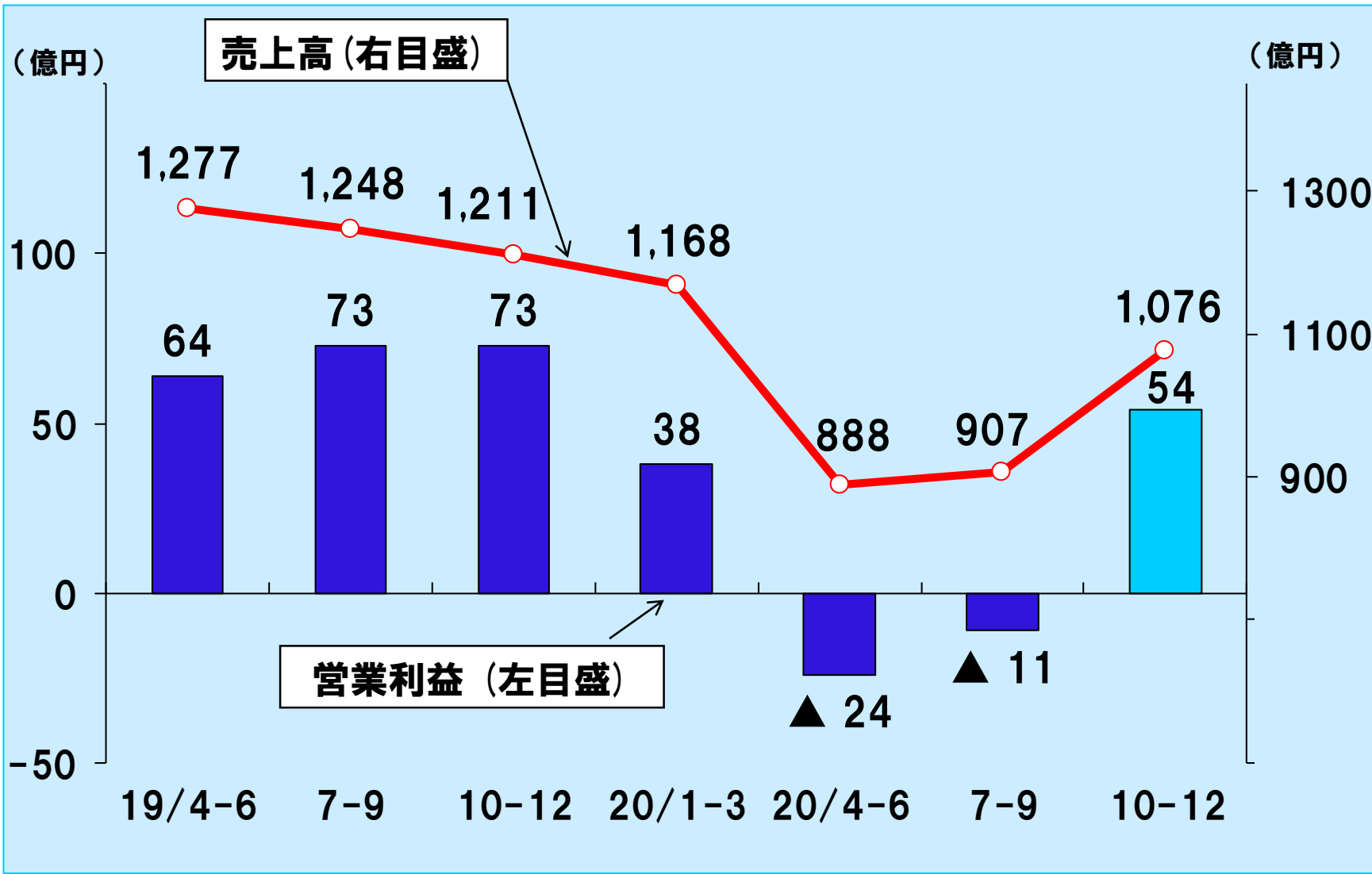
# 20/4-12実績の概要

(億円)	19年度 4-12実績	20年度 4-12実績	前年同期比
売上高	3,736	2,871	△865
営業利益	210	19	△191
経常利益	214	41	△173
当期利益(※)	162	16	△146

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

- 新型コロナウイルスの影響を受け、前年同期比では減収減益も、7-9月期より回復基調に転じ、4-12月期で黒字に転換。

# 売上高・営業利益 実績推移(四半期)



# 20/4-12 営業利益の変化要因 (前年同期比)

(億円)

19/4-12 営業利益		210	
前年同期対比変化	原燃料市況		+133
	数量変化	-203	
	価格変化	-100	
	内容差他	-78	
	変動費	-14	
	固定費		+71
	合計	-395	+204
20/4-12 営業利益		19 (-191)	

## 変化内訳

### 原燃料市況

・鉄屑/合金/エネルギー全ての項目でコストは下落

### 数量変化

・自動車関連需要を中心に大幅減。4-6月期を底に受注は回復傾向

### 価格変化

・鉄屑/合金サーチャージによりマイナス  
・スライドギャップ影響は△22

### 内容差他

・半導体関連回復も工具鋼/自由鍛造品で数量減。エンジニアリングも大幅減益

### 固定費

・減価償却費などの悪化要因あるも、経費予算など徹底的な削減実施

# セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(億円)

		19年度 4-12実績 (A)	20年度 4-12実績 (B)	前年度差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,417	990	-427
	営業利益	53	▲ 21	-74
機能材料・磁性材料	売上高	1,261	1,035	-226
	営業利益	105	57	-48
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	741	580	-161
	営業利益	5	▲ 35	-40
エンジニアリング	売上高	193	147	-46
	営業利益	26	5	-21
流通・サービス	売上高	124	119	-5
	営業利益	21	13	-8
合計	売上高	3,736	2,871	-865
	営業利益	210	19	-191

鋼材売上数量(単体)

919 千t

653 千t

-266 千t

# 20/4-12主要セグメント営業利益変化 (前年同期比)

(億円)

セグメント		特殊鋼鋼材	機能材料 磁性材料	自動車部品 産業機械部品	エンジニア リング	
19/4-12営業利益		53	105	5	26	
前年同期対比変化	営業損益	原燃料市況	+92	+27	+14	
		数量変化	-66	-84	-53	
		価格変化	-87	-9	-4	
		内容差他	-49	+13	-13	-21
		変動費	-8	-5	-1	
		固定費	+44	+10	+17	
		合計	-210	+50	+31	-21
20/4-12営業利益		▲21 (-74)	57 (-48)	▲35 (-40)	5 (-21)	

# 20/4-12 セグメント別売上高・営業利益

(億円)

		20年度				通期業績 予想値 (10/30公表)
		1Q (実績)	2Q (実績)	3Q (実績)	累計 (実績)	
特殊鋼鋼材	売上高	288	310	392	990	1,350
	営業利益	▲ 19	▲ 11	9	▲ 21	▲ 45
機能材料 磁性材料	売上高	329	319	387	1,035	1,420
	営業利益	12	10	35	57	87
自動車部品 産業機械部品	売上高	175	186	219	580	790
	営業利益	▲ 24	▲ 17	6	▲ 35	▲ 41
エンジニア リング	売上高	40	63	44	147	200
	営業利益	2	3	▲ 0	5	5
流通・ サービス	売上高	56	29	34	119	140
	営業利益	5	4	4	13	14
合計	売上高	888	907	1,076	2,871	3,900
	営業利益	▲ 24	▲ 11	54	19	20

鋼材売上数量(単体)

174 千t

204 千t

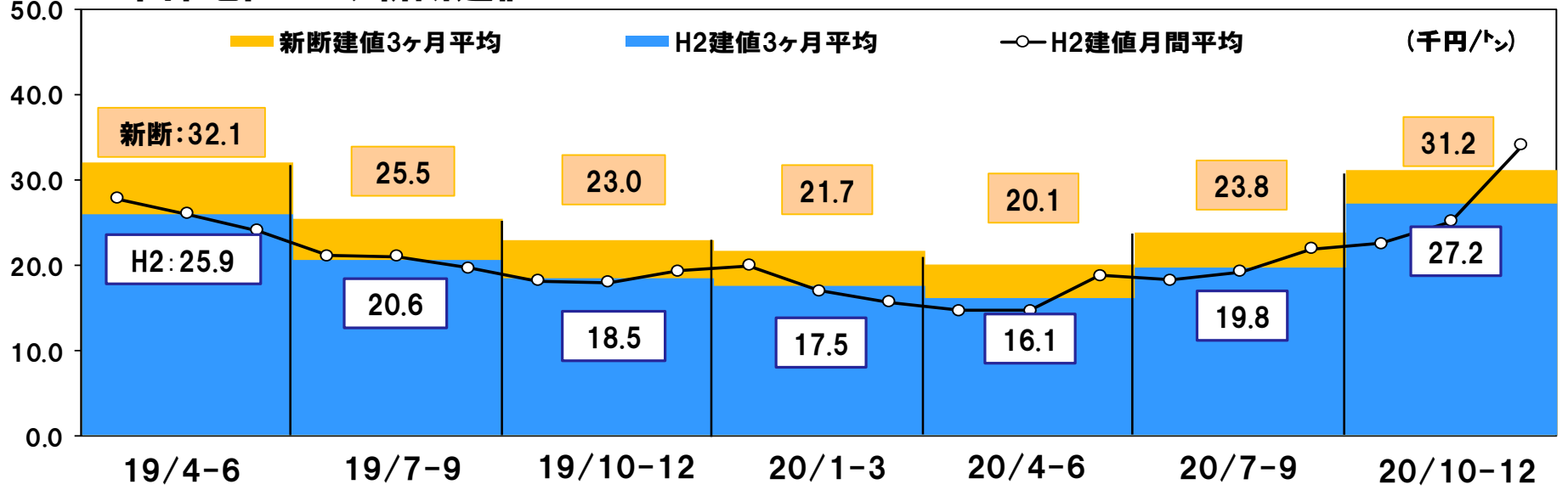
275 千t

653 千t

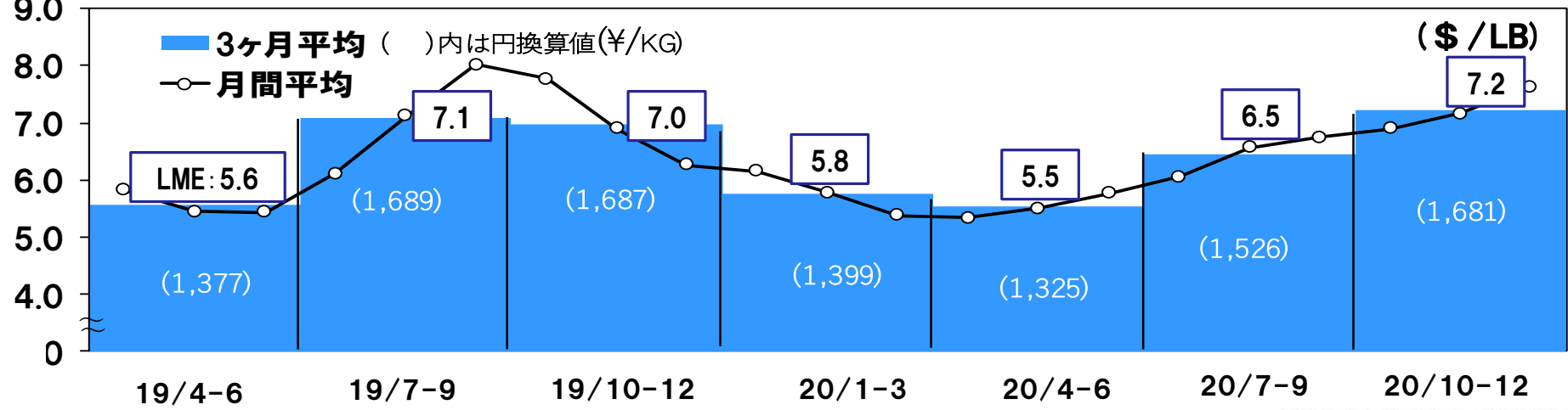
922 千t

# 原料市況(鉄スクラップ・ニッケル)

## <中部地区H2、新断建値>



## <ニッケルLME価格>





# 20/4-12 市況実績

	単位	20年度 4-9実績	20年度 10-12実績 (10/30公表 前提差)
鉄スクラップ 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	17.9	27.2 (+4.2)
		21.9	31.2 (+4.2)
ニッケル (LME)	\$/LB	6.0	7.2 (+0.7)
原油 (ドバイ)	\$/B	38.3	44.0 (+4.0)
為替レート (TTM)	円/\$	107.9	105.5 (+0.5)

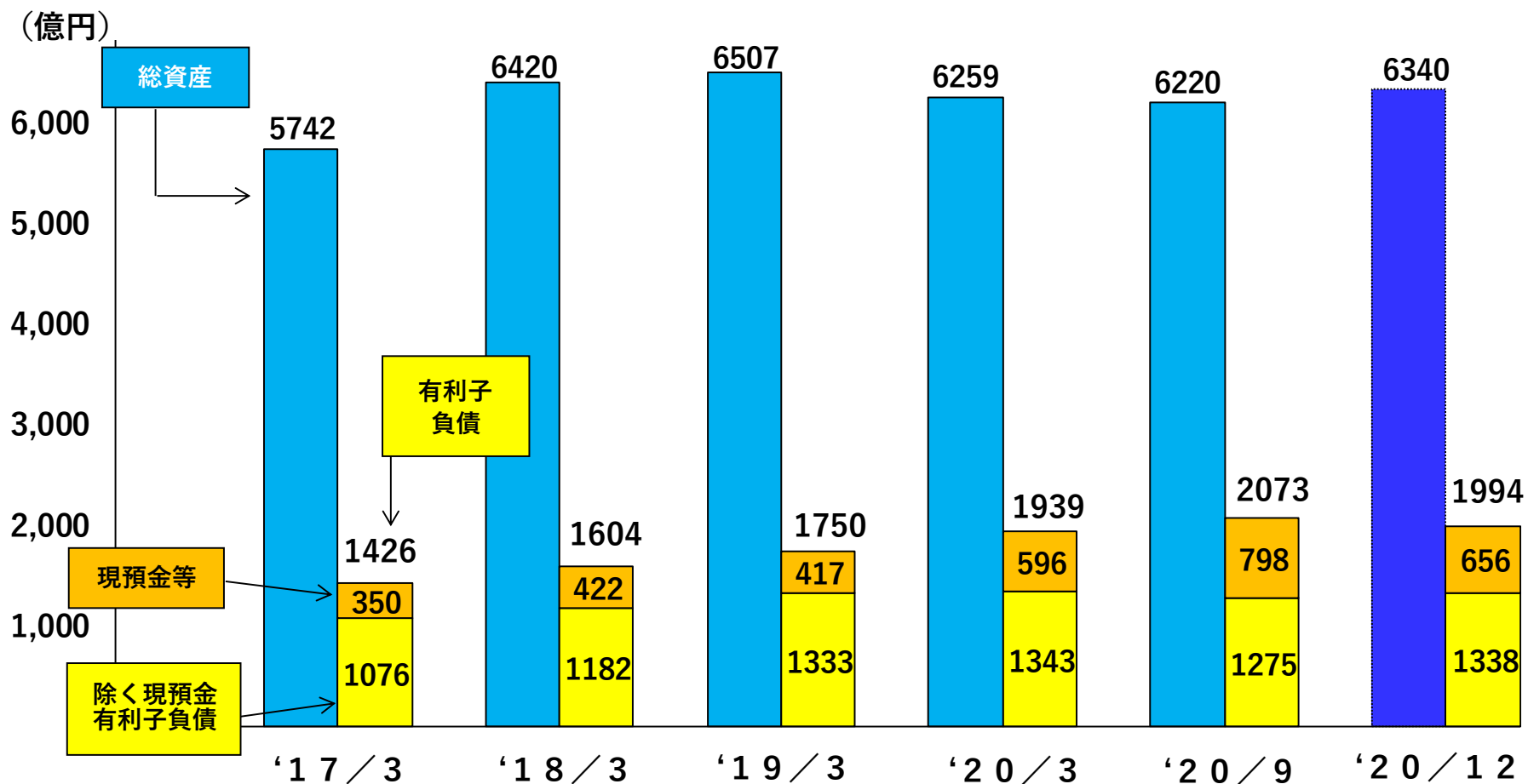
# 20/4-12 経常利益・当期純利益について

(億円)

営業利益	19
営業外収益・費用	22
経常利益	41
特別損益	1
法人税等 (※)	▲26
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	16

(※) 法人税・  
法人税等調整額(含む税効果)・  
非支配株主に帰属する当期純利益

# ■ 総資産、有利子負債、D/Eレシオ



	17/3	18/3	19/3	20/3	20/9	20/12
ROA	4.8%	5.9%	5.3%	3.8%	(-0.7%)	0.9%
D/E	0.55	0.56	0.61	0.71	0.75	0.69

# 2021年3月期 通期見通し

# ■ セグメント別売上高・営業利益(10/30予想差)

(億円)

		20年度 前回予想 (10/30)	20年度 今回見直し (1/29)	前回差
<b>特殊鋼鋼材</b>	売上高	1,350	1,394	44
	営業利益	▲ 45	▲ 40	5
<b>機能材料・磁性材料</b>	売上高	1,420	1,450	30
	営業利益	87	105	18
<b>自動車部品・ 産業機械部品</b>	売上高	790	809	19
	営業利益	▲ 41	▲ 27	14
<b>エンジニアリング</b>	売上高	200	199	-1
	営業利益	5	7	2
<b>流通・サービス</b>	売上高	140	148	8
	営業利益	14	15	1
<b>合 計</b>	売上高	3,900	4,000	100
	営業利益	20	60	40

鋼材売上数量(単体)

922千t 956千t 34千t

特殊鋼鋼材：鉄スクラップ価格の急騰あるも、自動車を中心とした売上数量の回復や固定費の削減等により、利益は5億円の上振れ。

機能材料：SUSを中心とした売上数量回復により利益上振れ。固定費の削減も利益貢献。

自動車部品：自由鍛造品は苦戦も、鋼製品等の売上数量回復と固定費削減により利益上振れ。

# ■ セグメント別売上高・営業利益(1-3期 前四半期差)

(億円)

		3Q (実績)	4Q (見通)	変化
特殊鋼鋼材	売上高	392	404	+ 12
	営業利益	9	▲ 19	▲ 28
機能材料 磁性材料	売上高	387	415	+ 28
	営業利益	35	48	+ 13
自動車部品 産業機械部品	売上高	219	229	+ 10
	営業利益	6	8	+ 2
エンジニア リング	売上高	44	52	+ 8
	営業利益	0	2	+ 2
流通・ サービス	売上高	34	29	▲ 5
	営業利益	4	2	▲ 2
合計	売上高	1,076	1,129	+ 53
	営業利益	54	41	▲ 13

鋼材売上数量(単体)                      275 千t    303 千t    +28 千t

特殊鋼鋼材：自動車中心に売上数量は堅調に増加するも、鉄スクラップ価格の急騰影響・退職給付債務計算の見直し影響(△15)により減益。

機能材料：SUS・高合金等の売上数量回復により増益。

自動車部品：鋼製品・エンジンバルブ等自動車部品の売上数量の増加により増益。

# 20年度 営業利益の変化要因(前年度比)

(億円)

19年度 営業利益		248	
前年度対比変化	原燃料市況		+121
	数量変化	-184	
	価格変化	-109	
	内容差他	-92	
	変動費	-4	
	固定費		+80
合計		-389	+201
20年度 営業利益		60 (-188)	

## 変化内訳

### 原燃料市況

- ・合金、資材/エネルギー中心に良化

### 数量変化

- ・下期の特殊鋼鋼材数量は、前年同期比レベルまで回復。SUSは4Qから本格的に回復

### 価格変化

- ・鉄屑/合金サーチャージによりマイナス
- ・スライドギャップ影響は△42  
(上期△9、下期△33)

### 内容差他

- ・半導体堅調。工具鋼も10-12で底打ち
- ・自由鍛造品・エンジニアリングは低迷
- ・退職給付債務計算の見直し影響△15

### 固定費

- ・上期に引き続き圧縮施策継続

# 20年度 利益計画の前提(市況)

	単位	20年 10-12月実績 (10/30公表 前提差)	21年 1-3月見通 (10/30公表 前提差)
鉄スクラップ 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	27.2 (+4.2) 31.2 (+4.2)	38.5 (+15.5) 42.5 (+15.5)
ニッケル (LME)	\$/LB	7.2 (+0.7)	8.0 (+1.5)
原油 (ドバイ)	\$/B	44.0 (+4.0)	50.0 (+10.0)
為替レート (TTM)	円/\$	105.5 (+0.5)	105.0 (±0)



# 20年度 経常利益・当期純利益について

(億円)

営業利益	60
営業外収益・費用	15
経常利益	75
特別損益	0
法人税等 (※)	▲40
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	35

(※) 法人税・  
法人税等調整額(含む税効果)・  
非支配株主に帰属する当期純利益

## (注記)

**本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。**

**今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。**

**また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。**